



目次

就任挨拶	1
退任挨拶	1
県退職校長会総会報告	2
会務報告	2
役員名簿	3
全連退総会報告	3
生き生きライフ	3・4
現職校長会情報	4

題字 19年度入会
安藤好子(元 名古屋・野立小)
22年度入会
絵 石川 純(元 名古屋・那古野小)

就任あいさつ



共助社会を

求めて

新会長

内田 久幸

この度、会長にご推挙いただき、職責の重さを痛感しております。微力ですが、精一杯努めてまいる所存です。

さて、阪神淡路大震災以降あらゆる世代の人たちが、ボランティア活動に参加し、自己実現に全力を注いでいる様子が、目に焼きついていきます。最近では、社会奉仕に勤しまれる高齢者の姿が目にとまります。

「五十代―長の仕事を楽しく続けよ。六十代―社会に奉仕せよ。働く身は光る 光るその身でご奉仕」これは、子どもの頃から耳にした父の人生行路の一節です。この金言に触発されたのか、六十五歳より、バリアフリー関連のNPO法人の事業に参画し、

参加者のさわやかさ、はつらつさに新鮮さを感じました。

その一つは、中部国際空港にて開催した「心のバリアフリー研修」に挑戦の三百名の案内ボランティアの半数が高齢者。人と出会い、役に立ちたい一心のシルバーの迫力。

二つ目は、公共施設において実施したイベント(研修参加者と高齢者の交流活動)に、アシスタントとして休日を上して参加の学生と会社員。自信と勇気に満ちた行動力と澄み切った和顔愛語の対応。

三つ目は、高齢者や障がい者へのもてなしの心と技の修得に汗を流す小・中・高校生。真剣な眼差しとほとばしるエネルギーの新鮮さ。貴重な体験を通して、共助社会の実現も速くはないと確信しました。会員の皆様におかれましては、地域と好縁を心に秘め、われ、支え合う社会づくりにお力添えいただいていることと存じます。

今年度は、こうした地域の活動状況調査を始め、先輩諸氏の築いてこられた足跡をたどり、一歩前へ踏み出すよう努めてまいります。更なるご支援をよろしく願います。

退任あいさつ



県下一体の

組織を希う

前会長

加藤 善章

布袋葵の緑が美しい。薄紫色の花をつける夏になると、退職校長会の組織を思う。そして今、本会発足七年目からお世話になった十二年、誰のために、何を考え、どんな活動をしてきたか、と考え込む。何故だろう。まず、それは、

本会自体が布袋葵のように、浮遊している組織体感じられるから。そう感じるのは、全連退の要請に基づき、県レベルで活躍された三地域の代表の皆さんが中心となって発足された本会で、当時の状況でも、三地域や郡市区を結ぶことは難しく、組織整備まで手が届かなかったのでは、と想像できるからである。

次に、以下に照らし省みて。本会の目的は、「会員相互

の旧交を温め、併せ愛知の教育振興に寄与する」とあり、諸経費会員(以下会員と表記)の立場を慮って言えば、「本会の事業によって、皆様が自ら活動される場所や生き甲斐を見付けられ、『ああ本会に所属して良かった』と、満足感を味わって頂くこと」になる。が現状は、皆様に満足を頂くには程遠い事業展開と活動であり、愛知の教育振興に寄与したとはいえない。また、組織についても、会員の拡大は図れたが、組織を繋ぐことは、体たらくで布袋葵のまま。こんな本会の状態で退任することに忸怩たるものがあり、心からお詫びせねばならない。水中に伸びる根は、本会の役員等の皆様のお力。この根に当たる活動が、本会と皆様を繋ぐ唯一の「会報」発行である。特筆すべきは、この根を育てるため、会報の題字や背景画を、会員代表にお願いし、大幅な刷新と内容の充実を期したことである。反対に、三地域・郡市区と県組織を繋ぐ大きな課題を残した。

三地域・郡市区の退職校長会が立ち上がり、本会と一体化した組織を夢見て、感謝とお礼の意を表す結びとする。



退任あいさつ

役員として在ったとき

前副会長

野田正美

平成十二年三月、退職。その年、本会理事の仕事をした
だき四年。空白四年の後、二
十・二十一年度、副会長を務
めさせていただきました。

この間の最大事は、本会の
基盤整備が年次を重ね着実に

行われてきたことでした。

記録を見ると、平成十四年十一月七日の欄に臨時総会が開かれ、次年度から会員期間を三年から七年にすることなどが決まったとあります。そして二十一年度には、その措置が完結し本会の組織も予算基盤も格段に整備されました。

空白はあるが、本会を創る始めと完結の年に役員として

あったことが関係の方々への感謝とともに心に残ります。本会の益々の発展と充実を念じています。ありがとうございます。

があり、総会が無事終了しました。(新役員は次頁に掲載)

事務局 2・24

年度 地域	16	17	18	19	20	21	22	計
尾 張	93	85	72	72	68	98	92	580
名古屋	65	81	58	66	83	69	68	490
三 河	91	93	63	98	110	101	98	654
合 計	249	259	193	236	261	268	258	1724

平成22年度 愛知県退職校長会 役員名簿 (敬称略)									
会長 (名古屋)		副会長 (名古屋)		支部長 (名古屋)		常任理事 (名古屋)		理事 (名古屋)	
内田 久幸	鈴木 昭明	安藤 公明	高木 久嗣	山本 正雄	中神 時彦	恒川 武久	廣瀬 一巳	太田 武司	中川 正明
松本 昭明	牧野 茂昭	大野 雅夫	高木 久嗣	山本 正雄	中神 時彦	恒川 武久	廣瀬 一巳	太田 武司	中川 正明
加賀 昭一	松山 美重子	柴田 育郎	坂田 正俊	福應 謙一	内藤 俊巳	橋本 松代	一宮 登勝	大橋 正躬	小坂 愛祐
渡辺 猶學	長尾 英俊	柳原 和代	小竹 佑一	山本 隼彦	石井 悦雄	浅井 富士雄	高須 由紀夫	藤澤 卓美	岩月 慎自
伊藤 昭三	中島 博明	伊藤 昭三	中島 博明	伊藤 昭三	中島 博明	伊藤 昭三	中島 博明	伊藤 昭三	中島 博明
尾張 要	中川 克夫	尾張 要	中川 克夫	尾張 要	中川 克夫	尾張 要	中川 克夫	尾張 要	中川 克夫

平成二十二年 度・全国連合退職校長会 総会報告



副会長
鈴木 昭明

平成二十二年年度の全連退総会が、六月二日(水)、東京両国の「江戸東京博物館」で開催された。本県からは前日の理事會に引き続き内田久幸会長と牧野茂昭・大野雅夫両副会長と私の四名が参加した。

総会は、予定された議事次第に基づき、審議・可決された。役員も廣瀬久会長始めすべて全会一致で承認された。

廣瀬会長は、全連退の責務は、教育現場の振興・発展のための条件整備・環境づくりには智恵を出して支援していくことにあると強調された。そして、(1)教育は、生涯に渡る人格形成という探究型の教育と短期間で成果を上げる修得型の教育があるが、最近の教育施策は前者が軽視されがちであるという危惧、(2)学校と教育委員会、学校と親、教師と子どもとの信頼関係の向上(3)各教育団体がそれぞれの立場を踏まえ、やるべきことを自覚し、密なる情報交換の必要性を、熱っぽく語られた。午後は、江戸東京博物館長の竹内誠氏の講演を拝聴した。

生き生きライフ

ヨガ再挑戦

22年度入会 福井 静子
(元 名古屋・千石小)

五十歳を超えたところから体力が急速に衰えていくのを実感するようになり、このままでは豊かな老後は望めないと不安になりました。物心ついたころから運動は苦手だった私ですが、年齢を重ねても楽しみながら体力を維持できるものはないかと探す中でヨガに行き着きました。「初心者でも無理なく挑戦できます」というキャッチコピーに惹かれ、まずは文化センターに通うことにしました。やる気は十分でしたが、会合と重なったり急な用ができたりする等、毎週、決められた曜日に時間を確保することができず、早々に挫折しました。

この度、退職したのを機に、改めてヨガ教室に通い始めました。ヨガの動きはゆっくりですが、人一倍体の硬い私には、どのポーズも大変難しく四苦八苦しています。まして、普段使わない筋肉を動かすとなると、ぎこちなさに拍車がかかり情けなくなりますが、

「無理をせず、焦らず、人と比べず、自分ができるところまでを精一杯やるのが大切」という先生の教えを素直に受け止め、前向きに取り組んでいます。

体力維持が目的で始めたヨガですが、想定外のうれしい効果もあります。無心になって体を動かしていると、自然に心が開放され、リラックスしてくるのです。レッスンが終わった時に味わう爽快感・充足感も格別です。気のせいなのか、姿勢もよくなってきたように感じます。

再挑戦は今のところ順調ですが、成果を焦らず根気よく続けていきたいと思っています。

山と友に感謝

17年度入会 山本 章江
(元 西尾・中畑小)

若い頃から家族旅行は、緑を求める山行が多かった。退職後は山への思いが益々強くなり、国内外の旅もリュックを背に山歩きをしている。

自然の懐は深い。季節により、天候により五感に与えてくれる感動が異なる。だから、同じ場所へ何回も行ってみたい。上高地は、何度も訪れている私の大好きな所だ。



焼岳を背に田代池にて

最近、木曾の山を拠点に山好きな仲間との交流を深める時間が増えた。近くの山に登ったり、春は山菜、秋はきのこを食べる会にも参加している。また、県道上高地線に花壇を作るなど、村の活動をさせてもらうこともある。冬はスノーシューで山に入り、雪のない時期には入れない場所に踏み込んだり、雪原にカモシカやウサギの足跡を見つけたら、冬でしか味わえない感動を山からもらっている。

山歩きを楽しむには、体力づくりが第一と、日頃は朝食前に近くの山のウォーキングを日課にしている。主人が大病をした十五年前は、山歩きは不可能と思っていたので、今の生活ができることに感謝している。「動ける今がチャンス」。今後も自然の中での仲間との交流を私たちの生きるエネルギーにしていきたい。

学生に学び学生と共に歩む

18年度入会 榊原 溥

(元 知多・衣浦小)

「若い学生に囲まれて。若い子のエネルギーをもらって。」と、出会う同僚や先輩諸氏によく言われます。

「いや、そんなことはありませんよ。」と言いつつ、心のどこかで満足そうな自分を見つけます。退職して五年、六十五歳になりました。

現在、金城学園で「教育者論」「理科教育」を担当し、講義いたしております。

教育者論では、教師という職業の素晴らしさと厳しさを伝えるメッセージャーでありたいと願っています。

特に、倉澤栄吉・大村はま・間瀬泰男先生が大切にされた『子どもが好きだから。教育に情熱を持っているから。』だけで教育はできない。教師はプロとして教える技術を持った人でなければならぬ。これを座右の銘として、学生にエールを送り続けたいと思います。

理科教育では、博物館・科学館展示構想で培った「楽しさ」をキーワードに、実感を伴う過程を重視した科学する心、不思議な世界の謎解きを共有していきたいと考えています。学生たちの「ワァー、

すごい。ア、そうか。わかった。」を目指し、共に歩む昨今です。



知多・美浜町古布の褶曲

若い力が、感動と実感の素晴らしさに気づき、次代を担う大きなエネルギーとなることを期待しています。

現職校長会情報

平成二十二年度総会が、五月十二日(水)、愛知県芸術劇場大ホールで開催され、次の活動方針のもと、力強いスタートを切りました。

①新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施・改善

②確かな学力と豊かな心、健全な体をはぐくむ教育の推進

③学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域との協働

④活力ある教育活動を推進する教育諸条件の整備・充実

⑤安全・安心な教育環境づくりの一層の推進
⑥校長の一層の研鑽と教職員の資質・能力の向上を図る研修の充実

平成二十二年度

愛知県小中学校校長会

役員・理事一覧(敬称略)

●会長	稲沢 江本 隆(小正小)
●副会長(五名)	豊田 樹岡 譲(前山小)
東 二宮 英二(富士中)	東 坂野 重法(東桜小)
瀬戸 岡田 康夫(水野中)	幡豆 尾崎 智(一色中)
●監査(三名)	小牧 舟橋 尚女(小牧南小)
中 青木 茂樹(老松小)	豊川 敷田 誠(小坂井東小)
●庶務理事(六名)	一宮 伊串 博(神山小)
犬山 井戸 則夫(東部中)	瑞穂 長坂 和哉(汐路小)
昭和 小田原晴夫(北山中)	豊橋 近藤 真澄(幸小)
岡崎 鈴木 栄二(矢作北中)	●会計理事(六名)
半田 加来 正晴(半田小)	あま 松永 裕和(甚目寺南中)
東 大矢 芳久(旭丘小)	昭 関口 大介(駒方中)
幡豆 加藤 幹根(白浜小)	豊川 山田 清志(小坂井中)
●専門委員会・部会理事(十六名)	法制 水谷 朋和(あま・七宝中)
理財 安原久美男(愛知・東郷小)	給与 望月 彦男(新城・千郷小)



文教	酒井 宏明(みよし・北中)
進路	成瀬 幸栄(知立知立南中)
研修	鹿嶋 勉(東海加木屋中)
保健体育	渡邊 弘義(緑・鳴海小)
福祉安全	白石 悟瑞穂(井戸田小)
給食	中島恵美子(西・榎小)
生徒指導	鈴木 修(北設楽・設楽中)
特別支援	浅田 謙司(東海・横須賀中)
広報	大島 弘己(稲沢・稲沢西小)
修学旅行	今川 雄二(中・伊勢山中)
教育課題	松尾 知之(昭和御器所小)
東陸小	山内 雅夫(昭和・川原小)
東陸中	溝口 哲夫(北名古屋・師勝中)

計報 ()内は逝去された日

鈴置 利勝先生(二一・七・十二)	元 刈谷市立富士松北小学校
磯村智津子先生(二一・八・十三)	元 安城市立丈山小学校
石川 明先生(二一・八・二十二)	元 安城市立立南小学校
石原 博文先生(二一・二・二十六)	元 岡崎市立城南小学校
松山 富勇先生(二一・四・八)	元 三好町立三好丘小学校
安藤 守男先生(二一・五・二十二)	元 稲武町立稲武中学校
滝川 豊先生(二一・六・十九)	元 愛西市立佐屋小学校

事務局だより

退職校長会『会報』第22号に寄稿いただきました皆様、新しく題字のバックの絵を描いていただいた石川純先生に、心より感謝申し上げます。

七月一日より、前事務局長の小出英一が退任し、事務局新次長として前清洲中学校長藤澤修一が着任しました。爽やかな対応を心掛けてまいります。

- 事務局長 大久保慎一(岡崎市)
- 事務局次長 井上 唯明(瀬戸市)
- 事務局次長 藤澤 修一(清須市)
- 事務局員 加藤美津代(清須市)

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄一丁目
四九の一〇

愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
電 〇五二一六二一八五二
FAX 〇五二一六二一八〇七
E-mail ai-kocho@axel.ocn.ne.jp